

明日香をさぐる

2025年は乙巳の年

今年が乙巳の年です。乙巳の年について詳しくみていきましょう。

2025年の干支は乙巳（きのとみ）です。干支とは、十干十二支の組み合わせで60通りあります。十干とは「甲乙丙丁戊己庚辛壬癸」の10通り。十二支はおなじみの「子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥」の12通りです。この二つを組み合わせると60通りあり、干支が一回りするには60年の周期がかかります。つまり、この組み合わせでいうと2025年は「乙巳」の年になるのです。西暦でいうと、西暦年を60で割って45余る年が「乙巳」の年になります。

乙巳の年は、過去を振り返ってみると、歴史的にも大きな変革が

起こりやすい年といえます。まず、

明日香村では誰もが知っているある有名な出来事が起きています。

645年の「乙巳」の変です。乙巳の変とは飛鳥板蓋宮で蘇我入鹿

を倒し、父蝦夷が自害して蘇我本家を滅ぼした出来事です。弱冠

二十歳ほどの中大兄皇子が天皇を中心とした国づくりのため、権力を握っていた豪族の蘇我氏を打倒

し、大化の改新という改革を成し遂げました。そのほか、1185

年には平氏一門が壇ノ浦の合戦で滅び、鎌倉幕府が成立しました。

合戦では27歳の源義経が活躍して平氏を滅ぼし、平氏から源氏へ時

代が大きく変わっていききました。

1605年には徳川秀忠が二代将軍に就任しました。戦乱の世が終わり以後約260年もの間は平和な時代となりました。1905年には日露戦争が終結し、植民地化されていたアジア諸国へ大きな影響を与えました。そして、今から

60年前の1965年には、いざなぎ景気をはじめ、高度経済成長期を象徴する出来事がはじまります。車（カー）、クーラー、カラー

テレビという新・三種の神器が家庭で普及し、世界第二位のGNP

を誇る経済大国となりました。蛇は脱皮をくりかえして成長し、かつ強い生命力をもっており、縁起

のいい生き物とされています。このため、乙巳の年は、再生、復活、

変革を象徴する年といわれています。

乙巳の変の舞台である明日香村では、乙巳の変が起きた飛鳥宮跡の発掘調査が進められています。

近年では、舒明天皇の時代につくられた大型の掘立柱塀や天皇が生

活した「内裏」に関連する建物跡がみつかっています。今後、発掘調

査が進めば乙巳の変が起きた場所

を特定できるかもしれません。また、乙巳の変で討たれた蘇我入鹿や父蝦夷の邸宅があったとされる甘樫丘でも発掘調査が進められています。今後の調査で乙巳の変にまつわる遺構や遺物がみつかることも期待されます。

いよいよ大阪・関西万博も開幕が迫り、世界遺産候補「飛鳥・藤原の宮都」のイコモス調査も今夏にはじまります。これまで、乙巳の年は若者の力で歴史が動き、新時代の風が吹いてきてきました。若い明日香風が日本から世界へ吹き渡ることを願ってやみません。

（明日香村教育委員会文化財課）



甘樫丘を背に立つ入鹿の首塚